

■「効果の見える治水事業」愛媛県 大谷川の総合流域防災事業

愛媛県中予地方局建設部長 みよし つぎお
三次 次男



注) 三次次男様におかれましては平成23年3月31日付けでご退職され、後任には平成23年4月1日付けで真田憲高(さなだ のりたか)様が中予地方局建設部長に就任されております。

■事業の概要

二級河川大谷川は、愛媛県伊予市の南東部山地に源を発し、山地裾部に発達する扇状地を流下、八反地川、保田川、殿田川の3支川を合流し、松山平野南部(伊予市、松前町)を貫流して伊予灘に流れ出る流域面積23.2km²、延長約10.2kmの中小河川です。

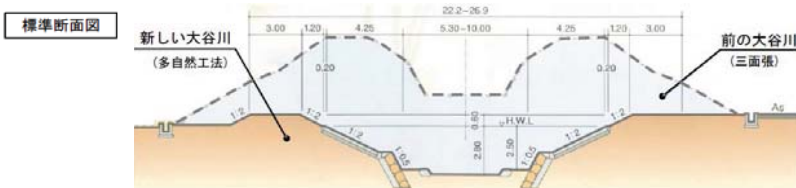
当河川は、川幅が2~4m程度と狭く、河床が堤内地盤より高い、いわゆる天井川のため、ひとたび豪雨になると、河川の氾濫により周辺地域に浸水等の被害を及ぼしてきました。



愛媛県では、浸水被害を解消するため、まず、昭和38年度から平成元年まで間に国庫補助の中小河川改修事業で河口から3支川の合流点まで八反地川を含む延長3.3km区間について整備をしました。さらに平成2年度からは、合流点より上流の延長3.6km区間に着手し、下流側から順次改修を行い、平成22年10月に河口から八反地川を含め6.9kmの区間について改修が終了しました。

工法については、緩傾斜護岸や水際への自然石使用、また、堤防には植生を施すなど自然環境に配慮するとともに、河川改修にあわせてJR橋を含む14の橋梁の架け替えも行いました。

事業開始から48年間の歳月と約60億円におよぶ事業費を要しましたが、改修工事を無事完了することが出来たので、今後は伊予市、松前町の安全・安心な暮らしの確保と地域の発展に大きく貢献できるものと考えております。



大谷川河川改修の完成を受けて



なかむら たすく
伊予市長 中村 佑

伊予市は、愛媛県のほぼ中央に位置し、県都松山市から南西へ約10km、南予の玄関口に位置している人口約4万人の小さな市であります。

また、二級河川大谷川は、伊予八景にも選ばれた風光明媚な谷上山の山あいに源を発し、途中、県下最大のため池で観光スポットである大谷池をとり、田園地帯の平野部を流下し、伊予灘に流れ出る当市を代表する河川であります。

この大谷川は、伊予市、松前町の広大な平野部を流域に持つことから、古くから米づくりのとても大切な役割を持ってきましたが、ひとたび大雨になると鉄砲水のような流水となり、勾配がほとんどない下流の平地ではその都度氾濫し流路が変わり、大事な農地や宅地が一面の水没地域となりました。さらにこの川は山間部から扇状地までの間が急流であったため、上流からの土砂の流出が激しく、昭和の初期には周りの土地より川底が高い天井川を形成しました。

その為、昭和38年から平成22年度までの48年の長きにわたり、中小河川改修事業(総合流域防災事業に事業名変更)において事業に取り組んでいただきました。安全、安心の確保の為、危険な天井川から堀込河川に形状を変更すると共に、護岸についても、市民の憩いの場としても広く親しまれるよう環境にも配慮した緩傾斜の多自然護岸としてこの度、完成いたしました。

長年にわたる地元関係者並びに県担当部局のご尽力に厚くお礼申し上げます。今後共、国、県のご高配を賜りながら、市民に広く親しまれ、愛される河川となりますよう努めて参りますので、関係各位におかれましては、ますますのご協力をお願い致します。



谷上山(皿ヶ峰連峰県立自然公園)



大谷池(森林公園)